

## 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

### 人間社会科学研究科

#### （博士課程前期）

人間社会科学研究科では、ディプロマ・ポリシーに示す目標を学生が達成できるように、以下の方針で教育課程を編成し、実施する。

1. 言語学、文学、哲学、史学、社会学、法学、政治学、経済学、経営学、心理学、平和学、文化人類学、地域研究、教育学、教科教育学、日本語教育学や、それらに関連する学際分野、融合分野に必要な専門的知識と能力の獲得を促すため、各分野に関連する専門科目をプログラム専門科目として開設する。
2. 幅広く深い教養と「持続可能な発展を導く科学」の創出への意欲を育成するため大学院共通科目を開設し、さらに人文科学、社会科学及び教育科学全般において共通基盤となる視点や能力を涵養するため研究科共通科目を、各分野において共通基盤となる視点や能力を涵養するため、専攻共通科目を開設する。
3. 専門領域外の基礎的知見に触れ、広い視野や複眼的思考能力を身に付けるため、他プログラム専門科目として主として専攻する領域以外の授業科目の履修を必修とする。
4. 広範な課題発見能力や課題解決能力の涵養のため、研究指導は、主指導教員と、主指導教員とは専門の異なる教員を含む 2 人以上の副指導教員との複数指導で行う特別研究を開設する。

#### （博士課程後期）

人間社会科学研究科では、ディプロマ・ポリシーに示す目標を学生が達成できるように、以下の方針で教育課程を編成し、実施する。

1. 言語学、文学、哲学、史学、社会学、法学、政治学、経済学、経営学、心理学、平和学、文化人類学、地域研究、教育学、教科教育学、日本語教育学や、それらに関連する学際分野、融合分野に必要な専門的知識と能力の獲得を促すため、特別研究を開設する。
2. 幅広く深い教養と「持続可能な発展を導く科学」の創出への意欲を育成するため、大学院共通科目を開設し、さらに人文科学、社会科学及び教育科学全般において共通基盤となる視点や能力を涵養するため、研究科共通科目を開設する。
3. 狭い専門領域にとらわれない広い視野や複眼的思考力を涵養するため、特別研究を開設する。
4. 広範な課題発見能力や卓越した課題解決能力の涵養のため、研究指導は、主指導教員と、主指導教員とは専門の異なる教員を含む 2 人以上の副指導教員との複数指導で行う特別研究を開設する。
5. チームの一員として課題解決に取り組む資質を涵養するため、社会における問題に目を向け、学生自身の専門性を社会的な問題解決にいかにかに活かすかという視点を身に付けるため、特別研究を開設する。

## 人文社会科学専攻

### (博士課程前期)

人文社会科学専攻では、カリキュラム・ポリシーに示す目標を学生が達成できるように、以下の方針で教育課程を編成し、実施する。

1. 言語学、文学、哲学、史学、社会学、法学、政治学、経済学、経営学、心理学、平和学、文化人類学、地域研究や、それらに関連する学際分野、融合分野で必要な専門的知識と能力の獲得を促すため、各分野に関連する専門科目をプログラム専門科目として開設する。
2. 幅広く深い教養と「持続可能な発展を導く科学」の創出への意欲を育成するため大学院共通科目を開設し、さらに人文科学及び社会科学全般において共通基盤となる視点や能力を涵養するため研究科共通科目を、各分野において共通基盤となる視点や能力を涵養するため、専攻共通科目を開設する。
3. 専門領域外の基礎的知見に触れ、広い視野や複眼的思考能力を身に付けるため、他プログラム専門科目として主として専攻する領域以外の授業科目の履修を必修とする。
4. 広範な課題発見能力や課題解決能力の涵養のため、研究指導は、主指導教員と、主指導教員とは専門の異なる教員を含む 2 人以上の副指導教員との複数指導で行う特別研究を開設する。

### (博士課程後期)

人間社会科学研究科では、ディプロマ・ポリシーに示す目標を学生が達成できるように、以下の方針で教育課程を編成し、実施する。

1. 言語学、文学、哲学、史学、社会学、法学、政治学、経済学、経営学、心理学、平和学、文化人類学、地域研究、教育学、教科教育学、日本語教育学や、それらに関連する学際分野、融合分野で必要な専門的知識と能力の獲得を促すため、特別研究を開設する。
2. 幅広く深い教養と「持続可能な発展を導く科学」の創出への意欲を育成するため、大学院共通科目を開設し、さらに人文科学、社会科学及び教育科学全般において共通基盤となる視点や能力を涵養するため、研究科共通科目を開設する。
3. 狭い専門領域にとらわれない広い視野や複眼的思考力を涵養するため、特別研究を開設する。
4. 広範な課題発見能力や卓越した課題解決能力の涵養のため、研究指導は、主指導教員と、主指導教員とは専門の異なる教員を含む 2 人以上の副指導教員との複数指導で行う特別研究を開設する。
5. チームの一員として課題解決に取り組む資質を涵養するため、社会における問題に目を向け、学生自身の専門性を社会的な問題解決にいかにかに活かすかという視点を身に付けるため、特別研究を開設する。